

市町村の職員数の状況について (H20.4.1現在)

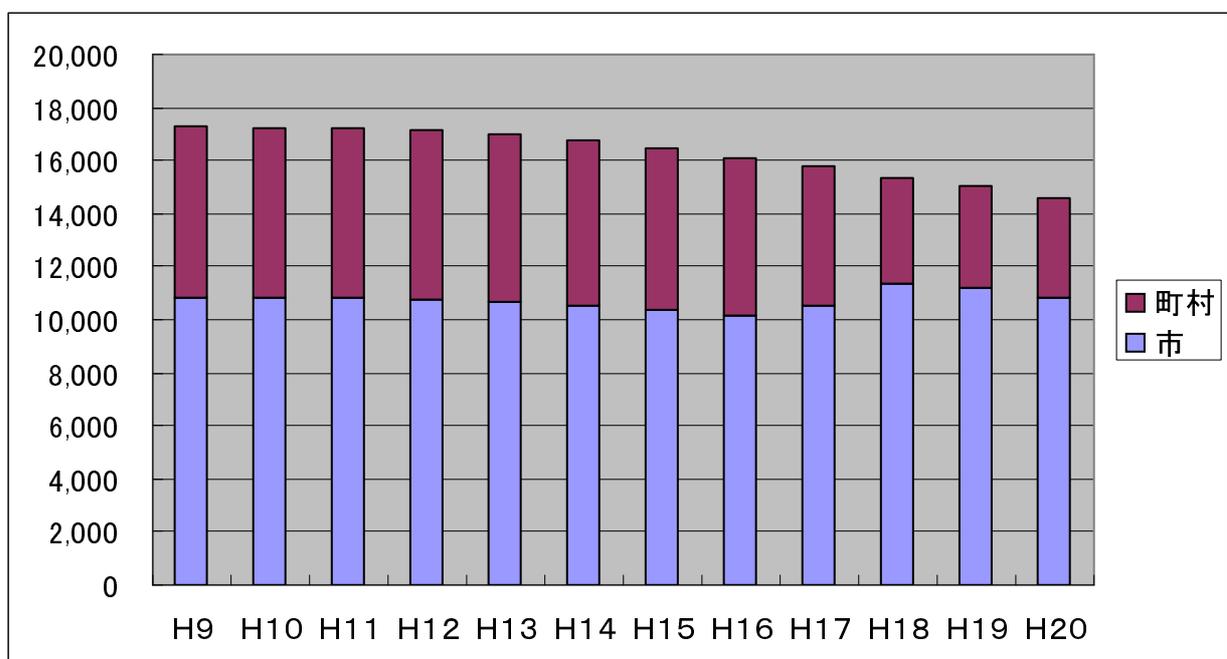
1 市町村総職員数の推移と状況

平成20年4月1日現在の県内市町村の総職員数は、14,567名となっており、対前年比で437名の減少です。市町村総職員数は平成9年から12年連続して減少していますが、今年は特に、団塊の世代の職員が大量退職の時期を迎えつつあるため過去最大の減少数になりました。

(単位：人)

年度	市	町村	市町村総職員数	対前年増減数
H9	10,846	6,478	17,324	▲ 91
H10	10,810	6,398	17,208	▲ 116
H11	10,809	6,381	17,190	▲ 18
H12	10,732	6,388	17,120	▲ 70
H13	10,661	6,327	16,988	▲ 132
H14	10,543	6,224	16,767	▲ 221
H15	10,359	6,108	16,467	▲ 300
H16	10,149	5,953	16,102	▲ 365
H17	10,500	5,253	15,753	▲ 349
H18	11,341	3,979	15,320	▲ 433
H19	11,175	3,829	15,004	▲ 316
H20	10,839	3,728	14,567	▲ 437

※各年度とも4月1日時点での職員数です。



※H17及びH18においては、市の職員数が増加していますが、これは市町村合併により町村の職員の一部が市の職員になったためであり、各団体とも職員数は減少しています。

2 市町村別の職員数の状況

前年度と比較して、35団体で職員数が減少しました。
市の平均減少率は▲3.0%であり、最大の減少率は御所市の▲6.6%です。
町村の平均減少率は▲2.6%であり、最大の減少率は王寺町の▲7.3%です。
平群町(※1)と天川村(※2)では総職員数は微増しました。

※以下の表は対前年増減率の順で並んでいます。(単位:人)

区分 団体名	一般行政部門	特別行政部門	公営企業部門	総職員数	対前年増減数	対前年増減率
大和高田市	405	136	482	1,023	▲9	-0.9%
橿原市	625	181	101	907	▲11	-1.2%
奈良市	1,984	887	337	3,208	▲64	-2.0%
生駒市	506	343	96	945	▲24	-2.5%
桜井市	390	176	51	617	▲18	-2.8%
天理市	425	174	210	809	▲26	-3.1%
葛城市	203	113	35	351	▲14	-3.8%
五條市	360	133	66	559	▲25	-4.3%
香芝市	344	107	59	510	▲25	-4.7%
宇陀市	395	123	297	815	▲47	-5.5%
大和郡山市	451	199	76	726	▲47	-6.1%
御所市	292	33	44	369	▲26	-6.6%
市計	6,380	2,605	1,854	10,839	▲336	-3.0%
天川村	47	18	9	74	2	2.8%
平群町	146	42	20	208	2	1.0%
御杖村	46	7	9	62	0	0.0%
下北山村	32	8	9	49	0	0.0%
大淀町	125	55	225	405	▲1	-0.2%
広陵町	131	67	21	219	▲1	-0.5%
三宅町	79	19	11	109	▲1	-0.9%
山添村	64	15	11	90	▲1	-1.1%
東吉野村	39	16	4	59	▲1	-1.7%
斑鳩町	140	39	24	203	▲4	-1.9%
田原本町	165	94	44	303	▲6	-1.9%
上北山村	33	8	6	47	▲1	-2.1%
川西町	72	28	14	114	▲3	-2.6%
安堵町	79	15	11	105	▲3	-2.8%
上牧町	154	58	25	237	▲7	-2.9%
野迫川村	22	4	6	32	▲1	-3.0%
河合町	158	41	21	220	▲8	-3.5%
川上村	49	15	9	73	▲3	-3.9%
明日香村	62	24	8	94	▲4	-4.1%
三郷町	127	26	23	176	▲8	-4.3%
黒滝村	25	14	6	45	▲2	-4.3%
下市町	69	28	23	120	▲6	-4.8%
吉野町	85	44	102	231	▲12	-4.9%
曽爾村	42	8	5	55	▲3	-5.2%
高取町	57	24	9	90	▲5	-5.3%
十津川村	88	25	16	129	▲10	-7.2%
王寺町	98	57	24	179	▲14	-7.3%
町村計	2,234	799	695	3,728	▲101	-2.6%
市町村計	8,614	3,404	2,549	14,567	▲437	-2.9%

- 一般行政部門…総務・税務・福祉・土木などの部門で、比較的、各自治体が独自に職員の配置を決めることができる部門です。
- 特別行政部門…国が法令等で定員に関する基準を定めている部門で教育・消防部門が該当します。
- 公営企業部門…水道・病院など独立採算で運営される部門です。

※1 平群町は、特定検診対応のため管理栄養士を新規採用したことなどによる増。

※2 天川村は、診療所の全面再開のため欠員であった医師を補充したことによる増。

3 各市町村の集中改革プランの進捗状況

各市町村は、集中改革プランとして平成17年度から22年度にかけての職員数の削減目標を掲げることになっています。

奈良県内の市町村は5年間で平均して8.3%の職員を削減する目標を掲げていますが、既に20年度時点で平均して7.5%の職員を削減しており、その進捗率は90.9%です。また20団体において、すでに目標を達成しています。

※ 以下の表は増減実績の進捗率の順に並んでいます。

区分 団体名	H17.4.1 総職員数	数値目標			増減実績			進捗率
		H22.4.1 総職員数	対17年 増減数	対17年 増減率	H20.4.1 総職員数	対17年 増減数	対17年 増減率	
生駒市	1,004	906	△ 98	-9.8%	945	△ 59	-5.9%	60.2%
大和高田市	1,070	1,004	△ 66	-6.2%	1,023	△ 47	-4.4%	71.2%
香芝市	546	496	△ 50	-9.2%	510	△ 36	-6.6%	72.0%
五條市	606	544	△ 62	-10.2%	559	△ 47	-7.8%	75.8%
天理市	857	797	△ 60	-7.0%	809	△ 48	-5.6%	80.0%
奈良市	3,354	3,174	△ 180	-5.4%	3,208	△ 146	-4.4%	81.1%
橿原市	964	907	△ 57	-5.9%	907	△ 57	-5.9%	100.0%
大和郡山市	777	726	△ 51	-6.6%	726	△ 51	-6.6%	100.0%
宇陀市	955	833	△ 122	-12.8%	815	△ 140	-14.7%	114.8%
御所市	421	378	△ 43	-10.2%	369	△ 52	-12.4%	120.9%
桜井市	678	628	△ 50	-7.4%	617	△ 61	-9.0%	122.0%
葛城市	368	355	△ 13	-3.5%	351	△ 17	-4.6%	130.8%
以下町村（人口5千人以上）								
広陵町	239	189	△ 50	-20.9%	219	△ 20	-8.4%	40.0%
明日香村	110	81	△ 29	-26.4%	94	△ 16	-14.5%	55.2%
王寺町	198	171	△ 27	-13.6%	179	△ 19	-9.6%	70.4%
平群町	225	203	△ 22	-9.8%	208	△ 17	-7.6%	77.3%
田原本町	313	301	△ 12	-3.8%	303	△ 10	-3.2%	83.3%
大淀町	441	400	△ 41	-9.3%	405	△ 36	-8.2%	87.8%
下市町	151	118	△ 33	-21.9%	120	△ 31	-20.5%	93.9%
上牧町	264	236	△ 28	-10.6%	237	△ 27	-10.2%	96.4%
三宅町	123	109	△ 14	-11.4%	109	△ 14	-11.4%	100.0%
高取町	105	90	△ 15	-14.3%	90	△ 15	-14.3%	100.0%
三郷町	192	177	△ 15	-7.8%	176	△ 16	-8.3%	106.7%
川西町	126	116	△ 10	-7.9%	114	△ 12	-9.5%	120.0%
河合町	242	224	△ 18	-7.4%	220	△ 22	-9.1%	122.2%
斑鳩町	230	209	△ 21	-9.1%	203	△ 27	-11.7%	128.6%
安堵町	114	109	△ 5	-4.4%	105	△ 9	-7.9%	180.0%
吉野町	274	258	△ 16	-5.8%	231	△ 43	-15.7%	268.8%
以下町村（人口5千人未満）								
御杖村	64	58	△ 6	-9.4%	62	△ 2	-3.1%	33.3%
天川村	79	64	△ 15	-19.0%	74	△ 5	-6.3%	33.3%
黒滝村	53	43	△ 10	-18.9%	45	△ 8	-15.1%	80.0%
曾爾村	61	54	△ 7	-11.5%	55	△ 6	-9.8%	85.7%
山添村	103	89	△ 14	-13.6%	90	△ 13	-12.6%	92.9%
川上村	83	73	△ 10	-12.0%	73	△ 10	-12.0%	100.0%
東吉野村	70	60	△ 10	-14.3%	59	△ 11	-15.7%	110.0%
十津川村	146	132	△ 14	-9.6%	129	△ 17	-11.6%	121.4%
下北山村	53	50	△ 3	-5.7%	49	△ 4	-7.5%	133.3%
上北山村	56	51	△ 5	-8.9%	47	△ 9	-16.1%	180.0%
野迫川村	38	35	△ 3	-7.9%	32	△ 6	-15.8%	200.0%
合計（39団体）	15,753	14,448	△ 1,305	-8.3%	14,567	△ 1,186	-7.5%	90.9%

4 類似団体との比較による職員数の分析

類似団体とは、全国の市町村を人口規模（本県では中核市とそれ以外の市と町村を人口規模により区分）と産業構造（第1次～第3次産業の比率）によりグループ分けをしたものです。人口規模や産業構造が同じ市町村の平均的な職員配置と比較することで、自己の団体がどの部門に職員を多く又は少なく配置しているのかを分析することができます。

当県の市町村では、民生部門（保育所）・衛生部門（清掃職員）・教育部門（給食調理等）で職員が多い傾向にあります。

- 民生部門…ゼロ歳児保育や延長保育を実施している団体が超過人数が多い。
- 清掃部門…清掃業務を民間委託せず直営で実施している団体に、常勤の専属清掃職員の割合が高い団体が超過人数が多い。
- 教育部門…特に山間部の町村で、私立幼稚園がない団体、小中学校の給食を学校単位で調理せざるを得ない団体、スクールバスを運行する必要がある団体が超過人数が多い。
- 総務部門…小規模な団体では、各部門ごとに専属の職員を配置する余裕がないため、総務部門に人を集中配置し業務を集中処理しています。

<類似団体との比較による超過状況一覧>

(12市)		※H19.4時点の普通会計ベース修正値分析		
団体名	超過人数	超過率	超過人数の多い部門	左記の部門の職員が多い理由
奈良市	364	12.4%	民生部門(主に保育所)、衛生部門(主に清掃職)	保育所に増員配置・清掃部門直営
宇陀市	150	27.4%	教育部門、幅広い部門で超過	給食センター2カ所あり。合併の影響でほぼ全部門で超過人数
桜井市	99	17.0%	民生部門(主に保育所)、衛生部門(主に清掃職)	保育所に増員配置・清掃部門直営
天理市	79	12.8%	教育部門、民生部門	幼稚園に増員配置・保育所に増員配置
五條市	65	12.5%	土木部門、農林部門	歴史的町並み保存事業・地籍調査実施
大和高田市	62	11.0%	民生部門、衛生部門	保育所に増員配置・清掃部門直営
御所市	47	13.3%	民生部門	保育所に増員配置
生駒市	16	1.8%		
橿原市	7	0.9%		
香芝市	1	0.2%		
葛城市	△ 44	-13.4%		
大和郡山市	△ 154	-22.3%		
(人口5千人以上の町村)				
団体名	超過人数	超過率	超過人数の多い部門	左記の部門の職員が多い理由
田原本町	47	17.4%	教育部門、衛生部門	幼稚園に増員配置・保健センター設置
大淀町	39	21.3%	教育部門、民生部門	給食を各学校で調理・保育所に増員配置
平群町	34	18.3%	民生部門、衛生部門	保育所に増員配置・ゴミ収集直営
上牧町	23	10.6%	教育部門、衛生部門	給食を各学校で調理・清掃部門直営
吉野町	19	14.4%	教育部門	給食を各学校で調理
王寺町	12	7.2%		
河合町	11	5.3%		
明日香村	10	11.5%	総務部門、教育部門	遺跡保存事業
川西町	4	3.9%		
下市町	0	0.0%		
安堵町	△ 4	-4.1%		
三宅町	△ 9	-9.2%		
高取町	△ 20	-23.3%		
三郷町	△ 21	-12.9%		
斑鳩町	△ 45	-24.5%		
広陵町	△ 62	-31.0%		

※人口5千人未満の小規模な団体については、類似団体の計算上、超過人数・超過率が過大に示されるため、以下参考値として記載しています。
(人口5千人未満の町村)

団体名	超過人数	超過率	超過人数の多い部門	左記の部門の職員が多い理由
野迫川村	22	(78.6%)	総務部門	総務部門で他部門業務を集中処理
上北山村	23	(54.8%)	総務部門 農林部門 民生部門	総務部門で他部門業務を集中処理・林業重視
御杖村	20	(37.0%)	民生部門、総務部門	福祉医療センター・村内交通バス運行
川上村	20	(30.3%)	教育部門 民生部門 総務部門	スクールバス運行・へき地保育所・大滝ダム整備
黒滝村	19	(47.5%)	総務部門など	総務部門で他部門業務を集中処理
天川村	19	(29.2%)	教育部門 総務部門	給食を各学校で調理
下北山村	11	(27.5%)	教育部門	スクールバス運行
十津川村	6	(4.9%)		
曾爾村	4	(7.5%)		
東吉野村	△ 8	(-14.3%)		
山添村	△ 25	(-31.3%)		

※類似団体の計算には、団体の面積、財政規模など地域の特性が全く考慮されないため、超過率の数字がそのまま余剰な職員とは言えません。どの部門に職員が多い傾向にあるのか傾向を分析するために使用されます。